



# 八重瀬町 各行政区・自治会の 公民館・集会所 を紹介します

古来より歴史のある字、開拓された字、新興住宅地として新たに行政区に加わった自治会など23字と10自治会の計33行政区から成り立っています。

字 …… 字 自治会 …… 自治会 人口・世帯数は平成18年2月28日現在



## 【上田原】

### Uetabaru

人口：207 世帯数：70

昭和7年に字東風平の字志道原一帯を区域として行政分離、町内では最も人口の少ない字です。サトウキビと畜産を営む農家が多く、住宅は耕地の中に散在しています。南部には「あけもどろ学園」「てだこ学園」の施設があります。また火返し池などの拜所もあります。



## 【伊覇】

### Iha

人口：1438 世帯数：463

字伊覇は、市街化区域となっています。字内を通る国道507号沿いには、各種店舗が進出し、商店街が拡大しています。個人経営のアパートが多く、昭和49年には字民出資の伊覇共同住宅が建てられ話題を呼びました。



## 【東風平】

### Kochinda

人口：4872 世帯数：1608

本町の中央部に位置し、八重瀬町役場東風平庁舎、町立東風平幼・小・中学校、町立あずま保育所・中央保育所、てだこ学園、あけもどろ学園、県教育庁島尻教育事務所、郵便局、農協などの公共施設が集中しています。また、沖縄の自由民権運動の父、謝花昇の出身地として知られています。旧盆には綱引き、旧8月の豊年祭には獅子舞、棒術が行われます。



## 【世名城】

### Yonashiro

人口：1102 世帯数：360

南側を八重瀬岳、与岳岳にいだかれた緑豊かな静かな字です。ハルヤー(屋取)が3つに点在し、集落が形成されているのが特徴です。一戸当たりの耕地面積は広く、昔から農業で栄えてきました。豊年祭には棒術やウスデークが行われます。また、世名城のガジュマルは県内最大で、平成2年には町指定天然記念物となりました。



## 【富盛】

### Tomori

人口：1410 世帯数：451

小高い丘の勢理城には、沖縄で最大最古の石彫大獅子があり、八重瀬をにらむように蹲居し、去る大戦の猛烈な戦火にもびくともしなかったと伝えられています。御嶽も多く神事、伝統行事も数多く残されています。豊年祭で行われる唐人行列・大和人行列は有名です。八重瀬岳には陸上自衛隊(八重瀬分屯地)があるほか、八重瀬公園では毎年きれいなヒカン桜を見ることができます。町立みなみ保育所、県立南部工業高校、町営なんぶ団地等の施設があります。



## 【屋宜原】

### Yagibaru

人口：335 世帯数：104

町の北東に位置し、南城市に隣接、北端を鏡波川が流れ、平坦な耕地が広がっています。昭和23年に字東風平から行政分離。3番目に分離したため“三男村”とも呼ばれていました。南部家畜常設セリ市場があり、畜産農家が多いのが特徴です。

現在、上地区画整理事業による宅地造成等が活発に行われています。



字

**【当銘】**

**Toume**

人口：647 世帯数：255

糸満市と隣接。北側のテミグラグスクを背に南斜面に住宅が広がる純農村地域です。旧暦7月15日には門中をエイサー支度で回る“ニンプチャー”や字小城と共同の籠甲行事が行われます。特別養護老人ホーム“ときわ苑”もここに 있습니다。



字

**【志多伯】**

**Shitahaku**

人口：1037 世帯数：330

糸満市と隣接する純農村地域です。字出身で旧東風平町の初代村長神谷夏吉氏が島尻郡畜産馬組合長を兼ねていたこともあり、かつては馬の飼育も盛んでした。旧暦8月15日の獅子舞は有名で各イベントに出演し、字のシンボルとなっています。



字

**【高良】**

**Takara**

人口：282 世帯数：99

糸満市と隣接。中心部にある児童館を核に、字ぐるみの活性化運動を展開しています。その昔、高良はゴルフ場へ抜ける道路途中の小高い地に集落を形成していましたが、今から167年前に現在地へと移動したと伝えられています。旧暦七夕には綱引き、旧暦8月15日には豊年祭が行われます。



字

**【外間】**

**Hokama**

人口：348 世帯数：117

南風原町と豊見城市に隣接。盆地状で耕地面積が狭く、商売や勤め人が多いのが特徴。旧盆には子どもたちによる獅子舞やエイサーが行われます。南部徳洲会病院があります。



字

**【宜次】**

**Gishi**

人口：1051 世帯数：329

近年、団地や住宅建設が進み人口の増加が顕著している地域です。戦前までは「宜寿次(ぎすじ)」と呼ばれていたが戦後「寿」の一字が消え、現在の宜次となりました。字に伝わる正月のクエンナは、沖縄の20日正月の原型といわれる独特な行事とされています。



字

**【小城】**

**Kogusuku**

人口：640 世帯数：181

糸満市と隣接。東側から眺めると集落は小高い丘を切り開いたような所にあり、坂道が多いのが特徴。その昔、豊見城間切から東風平間切に編入されました。サトウキビ作のほか畜産も盛んで、豚・鶏飼育頭数は町内一。隣接する当銘との共同籠甲行事は有名です。また、“聖地”の森にある「ニーサー石」も有名です。町立白川幼・小学校もあります。



字

**【新城】**

**Aragusuku**

人口：1186 世帯数：361

新城は、今よりおよそ290年前に、東風平間切から具志頭間切に編入されました。旧盆に行われる、青年会によるエイサー、一、元来は旧暦8月15日十五夜の日に踊られていましたが、現在は集落内の祝い事などの場で踊られているシーヤーマーの伝統芸能があります。



字

**【具志頭】**

**Gushichan**

人口：1646 世帯数：532

具志頭は、昔は具志上と書かれグシカミと呼ばれていました。およそ340年前に具志上は具志頭に改められ、明治12年の廃藩置県の頃までには、グシカミはグシチャンと呼ばれるようになりました。字具志頭は旧具志頭村の行政の中心地で役場、郵便局、社会体育館、改善センター、具志頭小中学校、幼稚園等が所在します。青年会による伝統芸能エイサーは、旧盆に行われます。



字

**【友寄】**

**Tomoyose**

人口：1333 世帯数：430

中央部を饒波川が流れており、新興住宅地として人口が増加しています。県立南部商業高校や島尻養護学校、町立北保育所、酪農研修センター、東風の里などがあるほか、字のシンボルである獅子をモデルにした県内最大級の巨大獅子滑り台があります。旧暦8月15日の獅子舞は有名です。



字

**【玻名城】**

**Hanagusuku**

人口：608 世帯数：197

玻名城は昔、花城と書かれたが、およそ290年前までには、玻名城に改められました。花城村は、グスク時代には多々名按司の居城多々名城の城下村で、当時の間切の中心であり、多くのおもろにもうたわれているように、名高く富み栄えた村でありました。玻名城には、旧暦8月15日には獅子舞と棒術が催されます。



字

**【大頓】**

**Ooton**

人口：266 世帯数：97

字大屯の前身は、およそ165年前に、旧土族の人々が首里から現在の部落の地に移住してつくった大屯原屋取であります。大屯原屋取は玻名城に属していました。年々人口も増加し、昭和6年に字玻名城より分離して字大屯を新設したが、それは大字としての設定ではなかったので本籍や住所は玻名城のままでした。平成元年に大字具志頭、大字玻名城の区域を変更して、大字大頓が誕生しました。



字

**【後原】**

**Koshihara**

人口：1049 世帯数：318

およそ165年前、後原屋取は新城村に属していました。ところが、後原屋取に次いで、現在のキタンチャと称する地にも、他間切から移住定着する者が増え、明治41年に、新城村から分離して字後原を新設したが、それは大字と設定されたものではなく、行政上の一自治区としての設定で、本籍や住所は字新城のままでした。昭和61年6月1日に、大字新城の区域を変更して、大字後原が誕生しました。



字

**【仲座】**

**Nakaza**

人口：450 世帯数：146

仲座は、昔は中座と書かれ、現在の仲座部落の南方山の上にある上城城趾の南西方にあり、上城城主と血縁の人々の居住していた村でありました。中座はおよそ265年前までには、仲座に改められました。戦後昭和21年に、与座と仲座が合併して「字富座」をつくられたが、しばらくして、字与座、字仲座に分かれました。



字

**【与座】**

**Yoza**

人口：166 世帯数：60

与座は、昔は上と呼ばれ、現在の字与座南方の山の上に現存する与座の殿付近にありました。親村である仲座村の東の方に新設された村だったので、上と呼ばれました。上村は、上五煙の伝説にもあるように、戸数わずかの村だったので、仲座に合併された時もありました。上村はおよそ290年前までには与座村に改められました。



字

**【安里】**

**Asato**

人口：825 世帯数：246

安里の部落は、古くは、多々名城の北方直下、現在の具志頭社会体育館の付近に在る、安里の殿の付近にありました。ところが、安里の殿の付近にあった安里村住民の一部は、地味肥沃で耕地の広い、現在の安里後方にある座嘉武井の付近に移って座嘉武村をつくり、一部のものは現在のサザンリンクスの入口付近のマーガジョーの地に移って喜納村をつくりました。やがて、琉球王府の農村施策により、各村は現在の安里の地に移り、安里村を建設しました。安里では、旧盆にエイサー、旧暦7月17日にウフデーク、旧暦8月15日には綱引きと棒術が行われます。



自

**【県営大頓団地】**

**Ooton Danchi (kenei)**

人口：273 世帯数：78

県営大頓団地は、平成3年7月1日から入居が始まりました。中層構造になっており、第2種住宅になります。

3棟建ての2DK30部屋、3DK50部屋あります。



字

**【長毛】**

**Nagamou**

人口：769 世帯数：247

長毛の前身は本来首里、那覇の旧土族が移住して、およそ148年前につくった長毛上屋取と、およそ147年前につくった長毛下屋取であります。長毛屋取は港川村に属していました。明治20年に粟石が発見されその採掘が盛んになると、それと関連して沖縄各地から人々が集まり、人口は増加し昭和2年に、字港川より分離して字長毛が新設され、さらに昭和40年に大字長毛が誕生しました。戦前の長毛は一時期は人口が2千人を越え、本島南部では糸満、与那原に次ぐにぎわいをみせたが、戦後は、住民の中には、玉城村堀川へ移り住む者が少なくありませんでした。旧盆には青年達によるエイサーが行われます。



字

**【港川】**

**Minatogawa**

人口：832 世帯数：300

港川は、町で唯一の漁村であり、糸満からの移住者によってつくられた部落であります。港川の前身は、文政11年頃、およそ175年前からつくりはじめられた上港川の集落であります。上港川の集落は、糸満からの移住者も年々増加し、特に冬場の良い漁場をひかえ漁業も発達し、上港川の集落は明治36年に港川村として新設されました。旧暦5月4日に行われるハーレーと角力大会は、有名です。



**【白川ハイツ】**

**Shirakawa Hights**

人口：415 世帯数：143

国道507号から少し入った小高い丘の上であり、見晴らしのよい閑静な新興住宅地で子ども会、自治会、婦人会の活動が活発。昭和61年には10周年記念式典が催され、「第二団地」の名称で親しまれてきたが、一戸建てということで、自治会名変更の動きがあり、平成10年4月1日から「白川ハイツ」としてスタートしました。



**【友寄第一団地】**

**Tomoyose Daiichi Danchi**

人口：268 世帯数：91

南部商業高校に隣接、町初の振興住宅として49年の入居以来、意欲的な自治会活動を展開し、平成6年には、自治会誕生20周年式典が盛大に行われました。



**【県営長毛団地】**

**Nagamou Danchi (kenei)**

人口：299 世帯数：92

県営長毛団地は、平成3年7月1日から入居が始まりました。中層構造になっており第2種住宅になります。

4棟建ての2DK32部屋、3DK56部屋あります。



**【県営外間団地】**

**Hokama Danchi (kenei)**

人口：340 世帯数：94

友寄第一団地と白川ハイツと隣接し、昭和62年8月より入居が始まり、小高い丘の上であり大変環境が良く活気に溢れています。



**【屋宜原団地】**

**Yagibaru Danchi**

人口：616 世帯数：169

町内にある10の団地の中では最大規模。誕生後すぐに自治会を結成し、結束力が固く町内行事に積極的に参加しています。青年会活動も活発で新興住宅地に文化の息吹を吹き込もうと青年エイサーを結成、各イベントにも積極的に参加しています。



**【大倉ハイツ】**

**Ookura Hights**

人口：344 世帯数：126

国道507号沿いに形成された振興住宅地。昭和51年の発足以来、那覇に近い地理的条件に恵まれ各種商店の立地が多く将来が有望視されています。



**【県営屋宜原団地】**

**Yagibaru Danchi (kenei)**

人口：206 世帯数：61

平成17年11月1日に入居が始まる。部屋数は60戸。今後の発展が期待されています。



**【県営外間高層住宅】**

**Hokama Kousou Jutaku (kenei)**

人口：498 世帯数：143

平成6年3月完成。最も那覇に近い団地。那覇糸満線の開通で利便性の優れた住宅として今後の発展が期待されています。



**【友寄東ハイツ】**

**Tomoyose Higashi Hights**

人口：525 世帯数：153

南風原町と隣接。住宅公社による分譲住宅として、平成7年に入居が始まり、閑静な住宅地として今後の発展が期待されています。

問合せ先

八重瀬町役場 企画財政課 広報担当まで

TEL:098-998-2668 FAX:095-995-4745 E-mail:kikaku@town.yaese.lg.jp